

防災訓練



10月に地震想定避難訓練、11月救命救急訓練を実施しました。地震想定避難訓練では実際にヘルメットを被り身の安全を確保しました。また、救命救急訓練では、消防署の方に来ていただきAEDの使い方を学びました。毎年行っていますが、繰り返し訓練を行う事で、有事の際に迅速に行動できるように備えていきます。

施設運営報告

防災訓練

10月 地震想定避難訓練
11月 救命救急
12月 不審者対応訓練

研修

10月 強度行動障害研修
11月5日 権利擁護研修
11月 虐待防止・権利擁護研修
12月 感染症対策研修

ご家族向け

10月8日 家族介護者教室(自分ノートの書き方)

編集後記

10月～12月にかけて地域の方と関わらせていただく、イベントに多く参加させていただきました。当日出店する自主生産品やお菓子作り等で、利用者の方に沢山ご協力いただきました。また、障がい者作品展出店に向けて、個人やグループで作品作りを行いました。どの作品も素敵に仕上がっています。また、日々の活動でもグループ合同の季節行事を行う事で、季節感を味わいながら皆さま楽しませていらっやいました。今後も、地域との関わり、行事を大切にしながら活動の提供をしていきたいと考えています。(佐々木)

Petal

令和6年12月 第14号

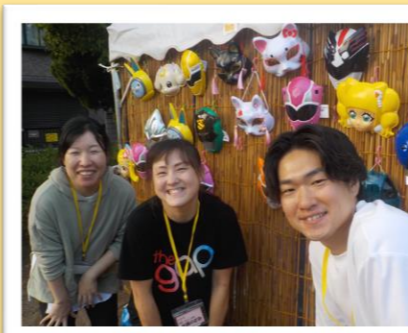


発行 社会福祉法人 あいのわ福祉会 花畑あかしあ園
発行責任者 金井 弘文(施設長)
〒121-0061 東京都足立区花畑3-16-4 TEL 03-5856-6878
FAX 03-5856-6876 URL <http://www.ainowa.or.jp>
発行日：令和 6年 12月 20日

花畑広報誌のタイトルは何故petalなのか？

petalとは英語で「花びら」を意味します。親しい人への愛称として「親しみ」「つながり」という意味でもpetalという言葉が使われています。利用者の方、ご家族、地域の人達と親しみや繋がりを大切にしていきたいという思いでpetalというタイトルにさせていただきました。

地域とのつながり



10～12月にかけて仲組3丁目町会秋祭り、出店では矯正展、あしの芽祭、花畑西小学校の花西オータムフェスタ、文教大学の華叉祭、桜花亭のオータムフェスティバルなど様々な地域のイベントに参加させて頂きました。

開所してすぐの頃は感染症対策の影響もあり、なかなか地域の皆様と交流する機会が持てずでしたが、カフェの営業を中心に「地域に根差した施設」を意識して参りました。近年、感染症対策の緩和を機に少しずつではございますが、地域のイベントに出店し、パウンドケーキや自主生産品の販売などする事で、地域の皆様と関わる機会を増やして参りました。その中で「出店しませんか？」とお声がけ頂く事があり、地域の皆様に施設を知って頂くことができたのではないかと感じています。

今回の出店では利用者の皆様が参加する機会はありませんでしたが、出店に合わせてパウンドケーキの調理やラッピング、自主生産品の作成などに携わって頂き、「たくさん売れて嬉しい」「やりがいになった」などとお話しを頂いています。出店先からは「今年も大盛況でした」「来年もよろしくお祈りします」と声をかけて頂き、利用者の皆様のやりがいに繋げる事ができたと感じています。

12月26日は花畑あかしあ園が開所してから初めての地域交流会があります。花畑地区で活躍されている皆様と協力し、花畑地区を盛り上げるイベントになる様に準備を進めています。今後も地域とのつながりを大切に、施設について地域の皆様にとって頂く機会を設けていきたいと考えています。(中野・天野)

季節行事や活動報告

AB合同レクで9月には運動会（玉入れ）、10月には、ハロウィンパーティーを行いました。各グループで事前準備の段階からみなさんと協力し合い、利用者の方や職員も仮装を行い、当日は大盛り上がりで皆さん楽しまれている様子でした。（佐藤）



〈利用者の方よりコメント〉

「玉入れ大会」は、2回やって2回ともAグループが勝たせていただきました。2回戦目は、Bグループの方達に、「まだ入ってるのかよ」と言われました。

「ハロウィンパーティー」は、利用者がいろいろな仮装をして私は今年、メジャーリーグで大活躍した有名選手の仮装をして参加しました。テーブルや壁に貼られたカボチャを探すゲームでは、数多くのカボチャを見つけ、結果的には、Aグループの勝利となりました。Bグループの方達は、「ちくしょー！」と言って、とても悔しがっていました。

障がい者アート展



足立区障がい者週間記念事業の「障がい者アート展」に出展致しました。Bグループでは皆さんで協力し合い、叶えたい事をテーマにそれぞれが思う叶えたい事や行いたい事を絵や文字、絵の具などで表現しました。作品作りを始める前は話し合いを行い、どんな作品を皆で作りたいか意見を出し合っていました。色鮮やかな背景を描き、その上に皆さんの思いを乗せた明るい作品に仕上がりました。個々に作品を出展された方々もいらっしや、ご自宅で少しずつ考えながら進めたり、個別活動の時間を使って丁寧に取組まれ素敵な作品が完成致しました。

（松原）